

# 開校10周年に向けて

青垣小学校 校長日より  
令和7年5月号  
発行責任者 植木政行

## 『ふるさと青垣に誇りが持てる統合小学校を創ろう』

「青垣地域の教育を考える会」の提言の具体化をはかるため、平成24年10月10日「青垣地域市立小学校統合準備委員会」の初会合が開かれました。このとき、委員長に選出された足立仁様は、『ふるさと青垣に誇りが持てる統合小学校を創ろう』を基本主題（スローガン）として、そのために地域がすることは何か、保護者がすることは何か、学校がすることは何かを求め、平成28年まで5年間にわたり統合に向けた協議を進められました。

今回は、足立仁様に当時をふり返ってお話いただいた内容をご紹介します。



足立仁様と校舎玄関の校歌額

## スピード感を持って統合 少子化の現状を鑑みて先延ばしはできない

「青垣地域の教育を考える会」でまとめられた提言は、次の3つです。

- 1 青垣地域の適正配置に関して教育環境の整備のためにできるだけ早い時期に4校を総合することが望ましい。
- 2 学校運営に関して統合された小学校と青垣中学校を同一敷地内に設置し、小中一貫校とすることが望ましい。
- 3 教育力の向上に関して青垣地域全体で新しい学校を核とした特色ある地域活動を展開していく。

この提言を踏まえて青垣中学校周辺に小学校の建設が可能かどうか1年かけて審議しました。小中のクラブ活動の進め方や音楽室・家庭科室等のいすの高さ、プールの深さなどさまざまな検討も重ねました。しかし、現在の青垣中学校隣接には防災上の懸念があり、別用地を求めた場合には長い時間を要することから、苦渋の選択として、「小中一貫教育」の対応を考え、青垣中学校に近く、2万平方メートル以上の広い面積を有する佐治小学校の用地を活用することを判断しました。



広い旧佐治小用地を活用して青垣小開校

## 災害に強い新校舎 管理棟は1階に 防犯のため周囲をすべてフェンスで囲む

丹波市と丹波市教育委員会へ新校舎建築を要望しました。災害に対応できる強い校舎にするとともに、旧佐治小学校は職員室や保健室が2階にあり、緊急時の対応に不安があったため、管理棟は1階としました。また、不審者の侵入に備え、敷地の周囲をすべてフェンスで囲んで、安全を守れるようにしています。さらに、湿気により廊下が滑りやしくならないように校舎の地下に2mの空洞を設け、各教室にはサーキュレーターを設置して24時間換気を行い、児童が快適に生活できるように配慮しました。冷暖房は集中管理で、トイレはすべて洋式になっています。



雨や雪を防ぐ  
玄関の大きな庇

## 統合小学校のイメージ

（写真は平成 29 年度）

教育力の向上に関して青垣地域全体で新しい学校を核とした特色ある地域活動を展開していく



味噌作り



綿摘み

### 青垣地域が誇れる小学校

青垣のよさを生かした教育活動が展開される学校

住民が共同参画できる学校

少子高齢・人口減少社会に生きる子どもたちにとってふるさとのよさを最も感じる学校

住民にとっても学校が生涯の心の拠り所となり得る統合

そのために

人との交流が活性化するように、小中学校が連携した教育内容を工夫

こども園、高校、高齢者等あらゆる地域住民と交流を深化させる中で児童自身が学びを実感できる教育環境を持つ学校

不易と流行の教育内容を持つ学校

### 基本主題（スローガン）

『ふるさと青垣に誇りが持てる統合小学校を創ろう』

そのために

地域がすることは何か 保護者がすることは何か 学校がすることは何か

統合してよかった、こんな学校で学ぶ子どもたちはすばらしい、  
青垣の未来を託す子どもを育むことのできる統合小学校を創り出しましょう

### 足立仁様のお話を聞いて

統合準備委員会で示された崇高な理念は、現在の青垣小学校の教育活動の大きな柱になっています。青垣地域コミュニティ・スクールは、「地域とともにある学校」を推進しています。今後さらに、園・小・中・高の連携・一貫教育を進め、「子どもと大人がともに学び合う」環境を整えて、学校教育目標『ふるさと青垣を愛し 自ら学びたくましく生きる 児童生徒の育成』の実現をめざしていきます。

足立仁様からは、統合に向けた多岐にわたる内容を聞かせていただきました。今回お伝えできなかったことは、今後のおたよりの中で、お知らせさせていただきたいと思います。

校長 植木政行